

タイトル『ひげは、さらば』

』

著者：上野瞭

出版社：理論社

元は、さらばは普段は一匹狼が猫たちが里親犬との争いをきかれて仲間と協力し、共同体を保つため、自分のおもむりを守るために主人公のヨコハマが、明日という猫と出会い、里親猫が、ヨコハマと一緒に数々の困難に立ち向かう。約80ページにも及ぶ大作である。物語は、個人の目を通して、理想と現実、個人と組織、社会と個人、人間と自然、人間と人間、人間と社会、社会と社会など、多岐にわたる複数の対立構造を示す。時には今の取り扱いが古風で、時代遅れだと描かれたり、自分の生き方に重きり心をゆさぶる。見えて、人生の意味や社会の本筋が、物語を通じて語られる。本書は、全ての世代の人へ一度は読んでほしい一冊だ。ぜひヨコハマと組の方を通じてあなたのひげについて考えさせぬか？

投稿日 年 月 日

ペンネーム（本名は書かないでね！）

年齢

仙台市 図書館 Y.A.コーナ